

聖書箇所：マタイ 1：18-25

**1:18** イエス・キリストの誕生は次のようであった。その母マリヤはヨセフの妻と決まっていたが、ふたりがまだいっしょにならないうちに、聖霊によって身重になったことがわかった。**1:19** 夫のヨセフは正しい人であって、彼女をさらし者にはしたくなかったので、内密に去らせようとした。 **1:20** 彼がこのことを思い巡らしていたとき、主の使いが夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフ。恐れないうちのあなたの妻マリヤを迎えなさい。その胎に宿っているものは聖霊によるのです。 **1:21** マリヤは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。この方こそ、ご自分の民をその罪から救ってくださる方です。」 **1:22** このすべての出来事は、主が預言者を通して言われた事が成就するためであった。 **1:23** 「見よ、処女がみごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」(訳すと、神は私たちとともにおられる、という意味である。) **1:24** ヨセフは眠りからさめ、主の使いに命じられたとおりにして、その妻を迎え入れ、 **1:25** そして、子どもが生まれるまで彼女を知ることがなく、その子どもの名をイエスとつけた。

## 導入

明日は、世界中の人たちがクリスマスを祝います。

今では、クリスマスは国境を越えたお祭りですが、その本来の意味が見失われているのも事実です。クリスマス商戦という言葉があるように、クリスマスはお店の書入れ時であり、幸せな気分を演出する行事となってしまいました。

-----  
今晚は、もともとのクリスマスがどんなものであったかを皆さんに発見していただきたいと思えます。

クリスマスの始まりについて書かれているのは聖書の中です。

聖書は、66巻で構成される書物です。この66巻がパズルのように組み合わさってできています。

そのパズルを完成させると、聖書が語るメッセージはイエスについてだということがわかります。

本当のクリスマスには、イエスという人が関わっています。

-----  
今日は、聖書のひとつの言葉に注目したいと思えます。クリスマスを祝う理由がそこに書かれているからです。マタイ 1章 23節です。

**1:23** 「見よ、処女がみごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」(訳すと、神は私たちとともにおられる、という意味である。)

-----  
この福音書の著者であるマタイは、ここで、イエスの生誕より 700 年も前に書かれた言葉

を引用しています。

神は、将来起こる大切な出来事について、預言者イザヤに伝えました。

---

この聖書のことばが伝える大切なことは、ふたつです。

1. 処女が赤ちゃんを産む。
  2. この赤ちゃんは、地上に来られる神である。
- 

この聖書のことばについて、考えるべき問いがふたつあります。

1. 神が地上に来られる目的は何か。
2. なぜ神は、このような奇跡を起こして、自分を卑しくされたのか。

神が地上に来られた目的は、21 節に書かれています。

**1:21** マリヤは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。この方こそ、ご自分の民をその罪から救ってくださる方です。」

神は、私たち人間を罪から救うために、地上にやって来られました。

---

現代人は、罪というものをよく理解していません。それで、罪から救われることに関心がないのです。

ではここで、まず罪とは何か説明しましょう。そして、罪がもたらす結果について説明します。それを聞いて、皆さんも救われたいと思ってくださることを願います。

---

約 7 千年前、神はこの世界とすべてのものをお造りになりました。

神はまた、ひとりの男性を造り、その人と良い関係を築きました。

神は、初めの人を造ったお方であり、所有者です。神は後に、その人の助け手としてひとりの女性を造られました。

---

神はこのふたりに完全な自由を与えて、この世界を満喫させました。ふたりには、創造主との良好な関係がありました。混じりけのない純粋な絆です。

---

神はアダムとエバのふたりに、ひとつだけ罰則付きの規則をお与えになりました。創世記 2 : 15-17 を読みましょう。

**2:15** 神である【主】は人を取り、エデンの園に置き、そこを耕させ、またそこを守らせた。

**2:16** 神である【主】は人に命じて仰せられた。「あなたは、園のどの木からでも思いのまま食べてよい。 **2:17** しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるとき、あなたは必ず死ぬ。」

---

残念ながら、ふたりはサタンという墮天使にだまされ、神の言いつけに逆らってしまいました。その結果、死が存在するようになったのです。

アダムとエバは神から引き離され、完ぺきな関係は壊れました。神が造られた世界は呪われ、アダムとエバは神の前から追放されました。

ここでわかるように、罪とは、神の言葉に逆らうことです。私たちの創造主であり所有者である神を無視し、好き勝手に振る舞うことです。神が与えてくださった生きるための規則を破ることです。

最初、神は生きるためにたったひとつの規則をお与えになりました。そして後に、規則は10個になりました。この10個の規則は、神の完全な聖さに対して私たちがどれほど汚れているかを知らしめるために与えられました。これらの規則は、聖書の申命記5章に登場します。

正直なところ、人は誰でも生きるための神の規則のどれかを破ったことがあります。また、アダムとエバの罪のせいで、この世に生まれるすべての人が創造主であり所有者である神から引き離された状態で生まれると聖書は語ります。これが原因で、人は皆、いつか死んで罪の罰を受けることが定められているとも教えます。

ローマ 5:12 そういって、ちょうどひとりの人によって罪が世界に入り、罪によって死が入り、こうして死が全人類に広がったのと同様に、——それというのも全人類が罪を犯したからです。

一方で、神はそれでも人類を愛し、神の子イエス・キリストをこの世に遣わして罪の罰から人類を救おうとなさったと聖書は語ります。

ヨハネ 3:16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ここで大きな疑問が湧きます。どうやって神は人類の罪を罰すると同時に救うのでしょうか。その答えは、罪の罰を負ってくれる代理人を遣わすことでした。人間では代理は務まりません。神の要求を完全に満たすためには、100%聖なる存在でなければなりません。その要求を完全に満たせるのは、人の姿をした神であるイエスだけでした。

さてここで、最初のふたつめの質問に答えることにしましょう。なぜイエスは、このような奇跡の中で自分を卑しくして来られたのでしょうか。

例えて言えば、こういうことです。夏になると、私の家にはたくさんアリが来ます。アリは非常に小さな生き物です。アリにならない限り、私がアリの生活をはっきりと理解するのは不可能でしょう。

同様に、私がアリにならない限り、私がアリに何かを伝えようとしても、アリにはなかな

か理解することはできないでしょう。

.....  
神には、人類に伝えたいメッセージがありました。それで、そうするのに一番の方法を取られたのです。つまり、人になることです。イエスは、私たちと同じように生まれました。ひとつ違うことは、罪がないことです。そういうわけで、イエスは男性の種からではなく、処女から生まれなければならなかったのです。

もしイエスが男性の種から生まれたのなら、イエスは **100%** 聖なる存在ではありません。この世に生まれたすべての人と同じく呪われた存在になってしまいます。

.....  
ですから、クリスマス祝う理由は、イエスを人類の救い主として送ってくださったことを神に感謝することです。イエスは、神がともにあるという意味であるインマヌエルとも呼ばれます。

史上最高のクリスマスプレゼントを受け取らないなら、クリスマスはそれほどめでたいことではありません。

最高のクリスマスプレゼントとは、すべての罪をイエスに赦され、いつの日か天国で永遠をイエスとともに過ごせるという約束です。

.....  
イエスは、自分の罪に気づいて、救われたいと願う人だけを救ってくださいます。

誰の人生にも強制的に介入したりはしません。私たちは、イエスを招き入れなければならないのです。

今日、神に語られたと思うなら、どうかこの礼拝後、ホールの後ろに来てください。そのことを話し合しましょう。

話を聞いて、いっしょに祈ってくれる人が待っています。

.....  
最後に、有名な賛美歌の歌詞をご紹介します。

主イエスは わがため  
十字架に かけられ  
わが罪 あがない  
墓より よみがえられたり  
主は今 生きておられる  
わがうちに おられる  
すべては 主の御手にあり  
明日も 生きよう 主がおられる

イエスは今日生きておられます。そして、あなたの罪を今日赦すことがおできになります。今日、イエスを信じませんか。